

輸送動向について(10月分)

平成19年11月

1. 輸送概況

今月は、中旬に伯備線での機関車故障による輸送障害が発生し、高速貨4本が運休したものの、月全体を通して大きな輸送障害もなく、安定した輸送状況で推移した。

荷動きについては、季節物資の出荷が旺盛であった他、石油の好調な出荷もあり、比較的堅調に推移した。

コンテナ貨物では、一部メーカーの生産設備不調により減送となった紙・パルプ及び家電・情報機器などが前年を下回ったが、政府米及び北海道地区の野菜類の出荷が好調であった農産品・青果物の他、10月22日より専用列車を増発したことにより増送となった自動車部品などが前年を大きく上回り、全体では前年比103.8%となった。

車扱貨物では、鉄鋼メーカーの定期修理により出荷調整のあった石灰石及びセメントなどが前年を下回ったものの、11月の仕切り価格急騰等により、灯油・揮発油が増送となった石油が前年を大きく上回り、全体では前年比109.9%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,158	2,079	103.8%	13,411	13,344	100.5%
車 扱	1,103	1,003	109.9%	6,789	7,174	94.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	286	261	25	109.6%
	化学工業品	200	196	4	102.0%
	化学薬品	147	143	4	102.8%
	食料工業品	290	285	5	101.8%
	紙・パルプ	331	342	-11	96.8%
	他工業品	160	143	17	111.9%
	積合せ貨物	240	232	8	103.4%
	自動車部品	77	58	19	132.8%
	家電・情報機器	34	36	-2	94.4%
	エコ関連物資	32	34	-2	94.1%
	その他	361	349	12	103.4%
	コンテナ計	2,158	2,079	79	103.8%
車 扱	石油	699	604	95	115.7%
	セメント	77	81	-4	94.7%
	石灰石	63	71	-8	88.2%
	車 両	118	99	19	118.7%
	その他	146	147	-1	99.0%
	車扱計	1,103	1,003	100	109.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)